

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1	3番 山本峰子（一問一答）			
	1. 孤独・孤立対策としての切れ目ない伴走支援体制について			
	(1)	不登校から卒業後まで、支援を切れ目なくつなぐことについて	不登校児童生徒について、中学校卒業後の進路や社会とのつながりまでを視野に入れ、教育から福祉・保健・就労等へ切れ目なくつなぐ仕組みについて、市としてどのように考えているのかを問う。	教育長
	(2)	相談窓口に「つないだ後」の伴走する支援体制について	重層的支援体制において、相談を受けて必要な支援につないだ後も、本人の生活状況や社会とのつながりを見ながら、必要な支援を継続的につないでいく仕組みは、どのように機能しているのか、その支援が実際に本人の孤立の解消や生活の安定、社会とのつながりにつながっているかを、どのような指標で検証しているのかを問う。	健康福祉部長
	(3)	重層的支援体制等を「機能」させる仕組みの構築について	重層的支援体制等を「機能」させるため、横系プロジェクトチームで検討されている「子ども分野から成人分野へのケースのつなぎ」について、支援の切れ目を生じさせないために、具体的にどのような仕組みを構築しているのかを問う。	健康福祉部長
	2. 「居場所」づくりと地域のつながりを支える仕組みについて			
	(1)	誰もが参加できる「居場所」づくりへの支援について	世代や属性を問わず誰もが参加できる居場所づくりについて、市民や民間団体等による自主的な活動に対し、市が現在どのような支援を行っているのかを問う。また、既存の活動や地域資源を生かしながら、今後どのように支援していくのかを問う。	企画振興部長
	(2)	市民の「やりたい」を地域の力につなぐ仕組みについて	市民や団体の「やってみたい」という思いと、町会・町内会や公民館など地域側のニーズをつなぐ仕組みについて、現在どのような取組を行っているのかを問う。また、人や団体、活動場所、支援制度等をつなぐコーディネート機能を、今後どのように充実させていくのかを問う。	企画振興部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
2	15番 南山修一（一問一答）		
	1. 台湾との交流促進や観光客受け入れへの展望について		
	(1)	台湾視察研修同行のねらいについて 今回、能美市商工会の台湾視察研修に同行した市長のねらいを問う。	市長
	(2)	台湾の都市との友好関係構築の可能性、今後の事業展開について 台湾視察訪問を通して得られた手応えと今後の友好都市関係構築の可能性、具体的な事業展開と課題を問う。	市長
	(3)	台湾との交流促進に向けた市内・県内関係機関等との連携強化について 台湾との交流促進に関して、市商工会等、各種団体と、金沢市や南加賀の自治体との連携が求められる。まず市内では、どの様な体制で事業を展開していくのか、そして市領域を超えての事業の拡大に向けて、どの様に働きかけていくのかを問う。	産業交流部長
	2. 能美市における8050問題への対策について		
	(1)	市内における8050問題の実態と取組について 国の推計と照らして、8050問題に該当し得る潜在的な世帯が数多く埋もれていると認識しているか、また、自ら相談に来られない潜在的な世帯を掘り起こすための取組について問う。	健康福祉部長
	(2)	重層的支援体制整備事業における8050問題の個別の到達目標や評価指標について 「早期発見」「長期の伴走」といった、8050問題に特化した個別の到達目標や評価指標を問う。	健康福祉部長
	(3)	「親亡き後」に向けた、当事者・家族に対する具体的な支援策について 「親亡き後」に向けた、「本人の社会参加・就労に向けた段階的な支援」「本人の生活設計」「抱え込みがちな家族への支援や居場所づくり」について、現在どのような支援策を講じているかを問う。	健康福祉部長
	(4)	アウトリーチ支援と今後の対策強化について 訪問支援を担う専門職の人材の確保・育成の状況、そして民生委員児童委員や地域住民との連携による「気づき」のネットワークづくりの取組と今後の方向性を問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
3	16番 東 正 幸（一問一答）			
	1. 第3次能美市総合計画の策定について			
	(1)	土地利用構想の見直しについて	第2次能美市総合計画で区分されていた「伝統工芸ゾーン」と「駅周辺ゾーン」を削除する方針であるが、その理由とこれらのゾーンが担ってきた役割や機能は、第3次能美市総合計画においてどのように担っていくのかを問う。	企画振興部長
	(2)	分野横断的な取組について	総合計画と総合戦略を「一体的に策定する」とは、どのような形をイメージされているのか。また、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方創生の取組としての位置づけは、どのようなになるのかを問う。	市長
	(3)	総合戦略の空白期間への対応について	総合計画と総合戦略の策定期間にずれが生じることへの認識はあるのか。また、そのずれの解消に向けた対応をどのように考えているのかを問う。	企画振興部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨	答弁予定者
4	6番 中村純子（一問一答）	
	1. 教育委員会移転後の根上総合文化会館について	
	(1) 令和9年度以降の根上総合文化会館の管理運営について	教育委員会の移転後も、休館せず、従来どおりの利用ができるのか、「根上サービスセンター」や「根上校下婦人会」以外の入居予定機関があるのか等、令和9年度以降の根上総合文化会館の管理運営の全体像と、館全体の所管部局について、どのように考えているのか問う。
		市長
	(2) 根上総合文化会館の整備工事について	根上サービスセンターの移転に伴い、新たに館内の整備工事が必要になると思うが、どのような整備工事を予定しているのか問う。
		教育委員会管理局長
	(3) 根上社会福祉センターについて	根上社会福祉センターは「当面の間、現状のまま活用」と聞いているが、施設の老朽化が進んでいるとのことであり、この「当面の間」とは、どのくらいの期間を想定しているのか問う。
		総務部長
	2. 旧根上フラワーセンターの跡地について	
	(1) 利活用に向けた動きについて	旧根上フラワーセンターの跡地利用について、地元からの要望等も含め、現在どんな動きがあるのか問う。
		産業交流部長
	3. 福島グランパーク複合商業施設について	
	(1) 複合商業施設開業の進捗状況について	複合商業施設の開業に向けての進捗状況と、企業とのやり取りの中で、市はどのような見通しを持っているのか問う。
		産業交流部長
	4. こども相談ステーションの児童虐待相談体制について	
	(1) 能美市の児童虐待対応の状況について	令和6年度、令和7年度の児童虐待に関する新規に受付した件数と虐待内容はどのようなであったか。また、緊急性が高く、県の児童相談所へつないだ件数は何件であったのか問う。
		健康福祉部長
	(2) 要保護・要支援児童について	現時点での、虐待事案として対応している「要保護児童」認定件数は何件か。また、すぐには虐待に至らないものの、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる「要支援児童」の認定件数は何件か問う。
		健康福祉部長
	(3) 要保護・要支援児童の相談対応職員について	何名の相談員が、一人あたり何人くらいの要保護・要支援児童を担当しているのか問う。
		健康福祉部長
	(4) 相談対応職員の確保について	現在の相談員の年齢構成や勤務(相談経験)年数はどのようなか。相談員の確保や研修の機会確保、引継ぎ体制等、懸念や課題はないのか、あるとすれば、対応方針を問う。
		健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
5	2番 牧 野 緑（一問一答）			
	1. 学校給食と子供の健康・食育について			
	(1)	学校給食における食材の選定について	学校給食において文部科学省が示す「過度に加工したもの」や「不必要な食品添加物」について、具体的にどのように選定しているのかを問う。	教育委員会管理局長
	(2)	学校給食における食材の選定基準について	学校給食に使用する食材、加工食品、調味料等について、価格、栄養価、衛生面、地産地消以外に、原材料、加工度、食品添加物、生産履歴など、「食材の質」に関してどのような選定基準を設けているのかを問う。	教育委員会管理局長
	(3)	「何を食べるか」まで含めた食育について	食品の原材料、加工食品、食品添加物、農産物の生産方法、地産地消など、「何をどのように選んで食べるか」という視点を、児童生徒だけでなく、保護者への食育にも、より積極的に取り入れていくことについて、市の見解を問う。	教育委員会管理局長
	2. 基本計画の一つ、農業・農村の振興について			
	(1)	能美市産米を地域の誇りにする取組について	学校給食での能美市産米の取組を、子育て世代や妊婦の方々にとって魅力ある本市の子育て環境の一つとして、また移住・定住に向けた本市の魅力発信にも生かしながら、市内外に広く発信し、消費拡大や地元への愛着形成につなげていくことについて、市の考えを問う。	市長
	(2)	学校給食という需要の可能性について	学校給食で必要となる食材の種類や量を教育部門と農業部門で共有し、農家と作付け段階から連携することで、市内産食材の使用を増やすとともに、環境負荷を抑えた農業に取り組む既存農家や新規就農者の安定した販路の一つとして学校給食を活用していくことについて、市の考えを問う。	教育委員会管理局長
	3. 食料自給力向上による防災力強化について			
	(1)	「地域農業」による防災について	地域の食料自給力や防災力の向上に向け、市民が農に関われるよう、耕作放棄地等の情報提供やマッチング体制を強化する考えについて、市の見解を問う。	産業交流部長
	4. 特別支援の質について			
	(1)	多面的に支える仕組みについて	令和8年第1回定例会の教育長の答弁で「次なる焦点」とされた支援の質の向上の一環として、学校での専門的な関わりや研修の充実に加え、必要に応じて食生活や栄養状態、睡眠などの生活習慣について管理栄養士や医療機関等に相談し、一人ひとりの子どもの状態を多面的に捉え、教育・保健・医療が連携した支援体制を充実させていくことについて市の考えを問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
7	4番 中野廣志（一問一答）		
	1. 交流人口の拡大について		
	(1)	ポケモンマンホールの誘致について 交流人口拡大として、能登空港で大きな効果を生み出している「ポケットモンスター」に関連して、「ポケモンマンホール」を能美市へ誘致することについて、市の見解を問う。	産業交流部長
	2. 能美市における歯科医療について		
	(1)	地域医療における歯科医療について 2000年以後、歯科医院の新規開業の無い能美市内における、今後の地域歯科医療について、市の見解を問う。	健康福祉部長
	(2)	新病院における歯科医療について 能美市立病院新病院の構想を踏まえ、歯科医療の見解を問う。	市立病院管理部長
	(3)	学校歯科医の報酬について 学校医の報酬については、定期的な改定による増額はあるが、学校歯科医の報酬は20年間据置となっている現状にある。児童生徒数の減少、開業歯科医の減少・高齢化に伴う地域事情から、報酬に対する市の考え方を問う。	教育委員会管理局長
	3. 適正保育の推進と保育士の適正労働について		
	(1)	保育時間の適正利用について 7月の調査で、児童を保育園へ退園時間に迎えに来られない保護者は約22%である。保育士の労働環境を適正にする観点から、保護者へ定刻通りのお迎えについて、理解と周知をどう行っているかを問う。	健康福祉部長
	(2)	保育士の適正労働時間について 保育士の正規出勤時間8時30分までには、園児の約70%が登園しており、その間は少数の保育士で対応している実態がある。安全・安心の保育体制を確保する為、保育士の出勤時間を早める等勤務時間、体制の見直しについて市の見解を問う。	市長
	(3)	公立認定こども園のお盆保育について 保育士の労働環境向上の為、民間の認定こども園と同様にお盆保育を両保護者が就業する場合に限る等と変更すべきと考えるが市の見解を問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨	答弁予定者
8	13番 田 中 大佐久（一括質問）	
	1. 能美東西連絡道路の整備について	
	(1) 効果について	本路線の整備によって、市内交通の円滑化、産業振興、防災・減災などの面で、どのような効果を期待しているかを問う。
	副市長	
	(2) 進捗について	現在、石川県が施工している能美市中ノ江町から小松市高堂町までの道路事業区間、及び能美市湯谷町地内の街路事業区間、県施工区間それぞれの事業進捗を問う。
	副市長	
	(3) 課題について	本事業を進める上での課題の有無について、市の認識を問う。
	副市長	
	(4) 連携について	県施工区間の早期完成に向け、副市長として、これまでの県行政における経験を生かし、県との連携・調整においてどのような役割を果たしていくのかを問う。
	副市長	
	2. 部活動の地域展開に伴う体育施設使用料について	
	(1) 冷暖房使用料について	地域クラブが体育施設を利用する場合、一般の団体利用と同じ考え方で冷暖房使用料を負担すると要綱に謳っているが、中学生のスポーツ活動を支えるという観点から一定の配慮をしてはと考える。市の見解を問う。
	教育長	
	(2) 冷房使用と生徒の安全について	体育館の冷房は快適性だけでなく、生徒の熱中症を防ぐための安全対策として必要なものである。冷房使用料が負担となり、安全のために必要な冷房の使用を控えることにならないよう、市としてどのように考えているのかを問う。
	教育長	
	(3) 減免制度の見直しについて	体育館の冷暖房を減免対象外とする要綱は、令和3年に制定されたものであり、現在は部活動の地域展開や少子化、さらに夏の猛暑など、当時とは状況が大きく変わっている。こうした現在の状況を踏まえ、地域クラブによる中学生の活動について、体育施設や冷暖房使用料の減免制度を見直す考えはないか、市の見解を問う。
	教育長	
	3. 児童生徒の安全対策について	
	(1) 安全点検や危険個所の確認について	他自治体での事故を受け、教育委員会として市内小中学校の安全点検や危険箇所の確認作業を実施したのかを問う。
	教育委員会管理局長	
	(2) 学校施設の安全対策について	校舎の出入口、施錠設備などについて、安全性向上のための点検や改善はどのように行われ、また、学校ごとの状況に応じて設備面の改善を進める考えがあるのかを問う。
	教育委員会管理局長	
	(3) 危機管理について	学校では、児童生徒が校内からいなくなった場合の対応マニュアルの整備や、警察や消防との連携を含めた訓練はどのように実施されているのかを問う。
	教育委員会管理局長	

	(4)	これからの安全対策について	他自治体で発生した事故を教訓として、本市の学校安全をさらに充実させるため、今後どのような取組を進めていくのか、考えを問う。	教育委員会管理局長
4. 障がい者の就労支援と雇用促進について				
	(1)	現状と取り組み状況について	能美市役所における障がい者雇用の現状として法定雇用率の達成状況・採用状況、現在取り組んでいる施策を問う。	総務部長
	(2)	業務内容等の現状について	能美市役所では障がいのある職員が安心して勤務できるよう、業務内容の調整や職場環境の整備、相談体制の充実など、合理的配慮について現在どのような取組を行っているのかを問う。	総務部長
	(3)	障がい者の就労継続支援と啓発について	市では、ハローワークや就労支援関係者と連携し、就労継続支援事業所への仕事の発注を促進する取組や啓発を進められているのかを問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
9	10番 卯 野 修 三（一問一答）			
	1. スマートインクルーシブシティ事業について			
	(1)	オンライン診療、買い物代行、ノルノミ、こくぞうスマートストアの検証と対策について	オンライン診療、買い物代行、公共ライドシェア「ノルノミ」、こくぞうスマートストア等の各事業の現状と課題を踏まえ、今後の利用拡大に向け、能美トチボ等を用いた利用促進策も含め、今後どのような対策を考えているのかを問う。	企画振興部長
	(2)	コミュニティサポーターの活動状況を踏まえた今後の方向性について	コミュニティサポーターの実績と課題を踏まえ、養成修了後の地域活動へのつながり、活動が活発な地域の好事例の横展開、若い世代も含めた担い手の多様化など、今後の方向性を問う。	企画振興部長
	(3)	今後の事業の方向性と持続可能性について	これまでの各事業の成果や課題を踏まえ、持続可能な事業としていくため、期限を設けるなど、今後どのような考え方で取り組んでいくのか。また、民間との連携や指定管理なども含め、今後のスマートインクルーシブシティ事業をどのような方向性で進めていくのか、見解を問う。	企画振興部長
	2. 自転車用ヘルメットの着用促進について			
	(1)	自転車用ヘルメット着用率アップについて	本年9月末で、自転車用ヘルメットの補助金が廃止となるが、交通安全推進のためにも、ヘルメット着用に対するインセンティブ導入等を含め、今後の着用率アップの具体的な取り組みを問う。	市民生活部長
	3. 「子どもの権利条例」を制定せよ			
	(1)	「子どもの権利条例」制定について	こどもまんなか社会を掲げる能美市において、昨年12月に石川県が「いしかわ子どもの権利基本条例」を制定されたことを踏まえ、「こども基本法」に基づき、能美市も「子どもの権利条例」を制定すべきと考えるが、見解を問う。	健康福祉部長
	4. 小中学校体育館に冷暖房空調設備を整備せよ			
	(1)	小中学校体育館の冷暖房空調設備設置について	近年、頻繁に発生する自然災害に備え、財政的な課題などはあるが、市民の命を守る観点からも、小中学校体育館に冷暖房空調設備を設置せよ。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
10	9番 今 尾 晃 司（一問一答）		
	1. 防災体制強化のための防火水槽の整備について		
	(1)	防火水槽の定期点検と維持管理の課題について 市内に整備されている公共防火水槽全215基の、定期点検と維持管理における課題を問う。	消防長
	(2)	更新を優先すべき施設について 耐用年数を超過した防火水槽や無蓋防火水槽を対象として、更新優先順位の特定が必要と考えるが、見解を問う。	消防長
	(3)	未設置地域への整備計画について 防火水槽未設置の11の地域の内、2つの地域が令和9年に設置予定である。残り9つの地域についても防災体制強化のための重点整備として、具体的な整備スケジュールを策定するべきではないか。	消防長
	2. 実質単年度収支の連続赤字に見る財政構造について		
	(1)	10年連続となる実質単年度収支赤字に対する現状認識と要因分析について 実質単年度収支の赤字が10年連続であることについて、「突発的な支出や一時的な財源調整によるもの」と捉えているのか、それとも「歳出構造が慢性的な赤字体質に陥っている」と捉えているのか、現状認識と要因分析を問う。	総務部長
	(2)	経常収支比率の高止まりと行財政改革への取り組みについて 実質単年度収支の赤字が続く中で、令和7年度の経常収支比率93.8%という結果をどのように評価し、総合計画の目標指標にもなっている実質単年度収支の改善に向けて、どのように行財政改革に取り組むのか問う。	市長
	3. 基金の確実かつ効率的な運用について		
	(1)	基金の運用方針と運用先について 財政調整基金を含めて23の基金における、令和7年度利息を令和6年度基金残高で割った簡易的な運用利率は0.169%である。現状の基金の運用方針と運用先を問う。	総務部長
	(2)	基金の効率的な運用について 地方自治法では、基金について「確実かつ効率的に運用しなければならない」としている。日本国内は金利上昇の局面にあり、今後の基金の効率的な運用について見解を問う。	総務部長
	(3)	外部からの基金運用方針等への助言について 地方公共団体金融機構の自治体ファイナンス・アドバイザー制度等を活用し、本市の基金運用方針やリスク管理体制について第三者の専門的な助言を受けてはどうか。	総務部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
11	14番 田 中 策次郎（一問一答）			
	1. 防災対策について			
	(1)	女性視点が加わった市防災計画への取組について	防災会議の中での女性委員の意見をどのように反映し、実際の地域防災計画や避難所運営、災害対応の改善につなげ、能美市の防災計画を実効性のあるものにしていくのか、女性委員の参画による今後の取組について問う。	総務部長
	(2)	災害時の井戸・湧水の活用について	災害時の生活用水確保のため、井戸・湧水の登録制度導入や、避難所や公園などへの手押しポンプ付き公共井戸整備について市の考えを問う。	総務部長
	(3)	断水時における自然水利を活用した消火体制について	大規模災害による断水時に火災が発生し、消火栓が使用できない場合、自然水利をどのように活用して消火活動を行い、実際の消火活動を想定した把握・整備がどこまで進められており、その訓練をどのように実施しているのかを問う。	消防長
	2. 学校教室の避難所としての活用について			
	(1)	学校教室の避難所としての活用について	高齢者や障がいのある方、乳幼児などの要配慮者について、空調設備のある教室を優先的な避難スペースとして活用することを、あらかじめ避難所運営計画に位置付ける考えはないかを問う。	総務部長
	3. 米価下落と生産コスト高騰に対する支援について			
	(1)	米価下落と資材高騰による農家経営への影響について	現在の米価の下落と農業生産資材等の高騰による、市内水稻農家の経営への影響を、市としてどのように認識しているのかを問う。	産業交流部長
	(2)	農業経営安定化支援について	農家が安心して来年度以降も営農を継続できるよう、国や県の制度を活用するとともに、市独自の営農継続支援として、一定の要件のもとで肥料・燃料・農業資材等の生産コストについて支援する制度を検討できないかを問う。	産業交流部長
	(3)	総合的な農家支援について	「営農継続」「コスト削減」「農地集積」「スマート農業」「共同利用機械」など、今後の総合的な農家支援の方針について問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
12	11番 仙 台 謙 三（一問一答）			
	1. ストーマ装具等について			
	(1)	ストーマ装具等への給付額の増額を問う	ストーマ装具等への給付額の増額について、市の見解を問う。	健康福祉部長
	(2)	災害時などにおけるストーマ装具等の確保体制を問う	災害時など、ストーマ装具等の確保体制について、市の見解を問う。	総務部長
	2. 「のみバス」バス停の設置について			
	(1)	公共施設における「のみバス」バス停の設置要件を問う	公共交通である「のみバス」のバス停を公共施設に設置する際の要件などを問う。	企画振興部長
	(2)	バス停の根上総合文化会館ないしは根上学習センターの設置を問う	根上サービスセンターが根上総合文化会館に移設され、利用者の増加が見込まれることから根上総合文化会館または根上学習センターに「のみバス」のバス停を設置することが必要ではないか。市の見解を問う。	企画振興部長
	3. 使用が停止された施設の解体撤去を含めた措置について			
	(1)	旧「はまなすの丘」施設の早期解体・撤去について	老朽化により機能移転と施設閉鎖となっている、旧「はまなすの丘」の建物について、早期解体・撤去、跡地の利活用の目途を立てるべきと考えるが、市の見解を問う。	市立病院管理部長
	4. 街路樹の安全確保について			
	(1)	街路樹点検の現状について	市における街路樹の通常巡回の実施、近接目視による定期巡回の状況、倒木・落枝の発生について、現状の把握状況を問う。	土木部長
	(2)	国土交通省「ガイドライン」に記載の「優先度別点検」について	国土交通省のガイドラインでは通学路など、優先度が高い「区分A」に該当する街路樹は、概ね1年に1回の定期巡回が基本とされているが、ガイドライン通りの実施は、どの様にすれば可能となるか。市の見解を問う。	土木部長
	(3)	老木化した街路樹の更新計画を問う	老木化した街路樹の計画的な更新（植え替え）を中長期計画に位置付ける考えはあるか。市の見解を問う。	土木部長
	5. 越境枝・枯木への対応強化について			
	(1)	越境枝・枯木への対応強化を問う	通学路や生活道路の安全確保のため、私有地からの越境枝への対応をどの様に強化するかを問う。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
13	8番 佐 伯 富美子（一問一答）			
	1. 「スパイ防止法」と市民の権利、個人情報の保護について			
	(1)	国家情報会議設置法施行、インテリジェンス・スパイ防止関連法制について	国家情報会議設置法施行、インテリジェンス・スパイ防止関連法制についての見解を問う。	総務部長
	(2)	特定秘密について	2025年度末現在で、特定秘密を取り扱う資格を持つ人は能美市の職員に何人いるのか。	総務部長
	(3)	人権侵害の拡大について	各情報機関が行った違法行為・人権侵害について、これまでも何の反省もしていない。国家情報会議設置法によって、憲法上許されない人権侵害が拡大されないか危惧するが見解を問う。	総務部長
	(4)	市民の個人情報について	国から情報提供を求められたら、どのような基準で判断するのか。個人情報保護法を最優先し、市民の権利を重視すべきと思うが見解を問う。	総務部長
	(5)	自衛隊への住民情報提供について	自衛隊に高校生等の個人情報を提供しているか。しているとすれば、提供する根拠は何で、情報提供の内容と方法、何人分なのか。	市民生活部長
	2. 新病院建設の進捗状況について			
	(1)	新病院の基本構想における建築スケジュール（案）の進捗状況について	新病院の基本構想では基本計画や基本設計など推進計画が出されている。建築面積や病床、病棟数など事業予算概算の進捗状況はどうなっているか。	新病院建設準備室長
	(2)	地域医療連携と地域包括ケアシステムについて	地域医療連携とは具体的にどのような内容か。また、地域包括ケアシステムの構築と管理はどこが担うのか。	市立病院管理部長
	(3)	療養病棟の継続と介護施設の設置について	療養病棟の継続と在宅復帰の支援と合わせ、在宅療養できない方のための介護施設の設置など包括的に計画されるべきだが見解を問う。	市立病院管理部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
14	7番 澤田 貞（一問一答）			
	1. 健全で働きやすい職場づくりについて			
	(1)	職員の自死を受け自治体トップの対応について	職員の自死という辛い状況下で、4月の定期人事異動や行政改革等で適正な行政サービスに努めて来たと思うが、この一年間の市長自らの行動及び対応を問う。	市長
	(2)	首長らのパワハラを条例で規制する取組みについて	首長は職員に対して圧倒的に優位な立場です。首長ら特別職は自治体職員の職場を健全で働きやすくすることは勿論だが、強権を戒めその行動を律するためにもハラスメント条例制定に対する、市の考えを問う。	総務部長
	(3)	パワハラ行為への対応について	能美市職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例を受け、パワハラ行為と断定に至るプロセスと処分内容の判断対応を問う。	総務部長
	(4)	ハラスメントの実態把握アンケート調査について	能美市のハラスメントの実態を把握するアンケート調査を、「職場のハラスメント撲滅月間（毎年12月）」にあわせて実施すべきと考えるが、市の見解を問う。	総務部長
	(5)	風通しの良い職場環境づくりの最終報告について	2月に設置された「風通しの良い職場づくり推進委員会」で、職員が業務に取り組みやすい職場改善の具体策を問う。	市長
	2. 豪雨対応について			
	(1)	豪雨の対処について	地球温暖化の影響で、線状降水帯による短時間に大量の雨が降ることで、中小河川や用水等での排水困難が生じる。能美市としての内水対策について、市の見解を問う。	土木部長
	3. 情報教育の拡大について			
	(1)	教育現場の改善について	情報活用能力を養う生成AI（人工知能）の急速な普及に応じ、学校での情報教育の拡大が予定されている。教育現場を疲弊させない為にも、その対応策と、政府が進めるデジタル人材の育成方針についての見解を問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
15	5番 荒井 昌宏（一問一答）			
	1. 市内公立小中学校体育館の空調設置について			
	(1)	市内公立小中学校の避難所としての利用の現状と対策について	能美市内公立小中学校体育館で災害時に避難所となる体育館は何箇所あり、また、体育館の利用が難しい場合は校内の教室等が避難所として使用できるのか現状と対策について見解を問う。	総務部長
	(2)	体育館に空調が設置されていないところの代替設備について	熊本地震では冷房がないと過ごせない暑さであったが、能美市の避難所となる体育館に冷房が設置されていないところには、スポットクーラーや扇風機などの代替設備を備蓄しているかを問う。	総務部長
	(3)	市内公立小中学校体育館の空調設備設置の今後の計画について	政府は令和7年6月に閣議決定した「第1次国土強靱化実施中期計画」では、避難所等にもなる公立小中学校体育館の空調設備の設置率について、令和17年度までに100%とする目標を掲げたが、能美市の今後の計画について問う。	市長
	2. 感震ブレーカー設置について			
	(1)	地震被災後の二次災害防止の役割を果たす感震ブレーカー設置の推奨について	地震の直後だけでなく、避難後や停電復旧時に破損した配線から発生する火災を防ぐ、二次災害防止の役割を果たす感震ブレーカーが重要と考えますが設置の推奨について、市の見解を問う。	消防長
	(2)	感震ブレーカー設置に対して市民や町会・町内会への支援について	石川県では、感震ブレーカー設置促進事業費補助金制度を実施しているが、今後設置促進に向けて市民や町会・町内会に対して、市からの支援を検討しているかを問う。	消防長